

# 簿記

NHK  
高校講座

## 第1回 簿記の基礎

# はじめよう 簿記!

～資産・負債・純資産～

講師  
粕谷和生

簿記とは何か、まず、その意味と目的について学びます。次に、資産グループと負債グループに属すおもな項目を知り、資産と負債のイメージをつかみましょう。また、3つの商店を比較する演習では、計算問題に挑戦して第1回の講座のまとめをしてみましょう。

調べておこう・覚えておこう

企業／経営活動／  
帳簿／権利・義務

## 簿記ってなんだろう

商店や会社などの企業は毎日、商品を仕入れたり売ったり、また、広告宣伝をしたり、銀行からお金を借りたりなどさまざまな経営活動を行っています。簿記はこのような経営活動を一定のルールにしたがって帳簿に、記録・計算・整理する技術です。

Key Word：記録・計算・整理

簿記の目的は、次の3つです。

- ①財産管理 (現金や商品、借入金などの財産を注意して管理すること)
- ②財政状態の明示 (一定時点の財産がいくらあるかを明らかにすること)
- ③経営成績の明示 (一定期間のもうけはどうなっているかを明らかにすること)

Key Word：財産管理・財政状態・経営成績

以上の簿記の意味と目的は、勉強を始めたばかりの人にとっては、たいへん難しい内容です。勉強が進んでいくと「あっ、そういうことだったんだ」とわかりますから、今回の番組では、おおまかなアウトラインが理解できれば十分です。

## 資産・負債・純資産とは

簿記では、毎日の経営活動を資産・負債・純資産・収益・費用の5つの要素に分けて記録します。第1回では資産・負債・純資産の3つについて学びます。

### (1) 資産

資産とは、経営活動を行うために企業がもっている財貨（現金や商品、建物や備品など）や債権（将来、一定金額を受け取る権利）などです。おもな資産は次のとおりです。

#### おもな資産

現金	紙幣や硬貨などの金銭
売掛金	売上代金をあとで受け取る権利
商品	販売する目的でもっている物品
貸付金	貸したお金をあとで返してもらえる権利
備品	パソコン・コピー機・金庫・机・イス
建物	店舗・事務所などの建物
土地	店舗・事務所などが立っている敷地

上記の中で、売掛金と貸付金は「権利（債権）」である点に注意しましょう。簿記では、具体的な形をもたない権利も記録・計算・整理の対象とします。

## (2) 負債

負債とは、将来、一定金額を支払わなければならないなどの義務である債務をいいます。おもな負債は次のとおりです。

### おもな負債

買掛金	仕入代金をあとで支払う義務
借入金	借りたお金をあとで返す義務

おもな負債は、すべて「義務（債務）」である点に注意しましょう。また、なかなか覚えにくいので下記のようにイメージでとらえるとよいでしょう。

ポイント 資産のイメージ：たくさんあるとうれしいもの

負債のイメージ：あまり多くないほうがよいもの

## (3) 純資産

資産の総額から負債の総額を差し引いた差額を純資産とといいます。たとえば、資産総額が¥1,000,000 負債総額が¥400,000 のとき、純資産の額は¥600,000 となります。純資産は、「資本」ということが多いので、本講座ではこれ以降、資本ということにします。

$$\text{資産} - \text{負債} = \text{資本（純資産）}$$

Key Word：資産、負債、資本

## この店って大丈夫？

番組の中では、3つの商店（松田商店、石井商店、さかっち商店）の資産と負債の額から資本を計算する演習を行います。さかっち商店の場合は、店にある資産と負債を調べてから、資本の金額を計算します。

松田商店	：資産¥1,000,000 - 負債¥300,000 = 資本¥700,000
石井商店	：資産¥1,000,000 - 負債¥100,000 = 資本¥900,000
さかっち商店	：資産¥1,000,000 - 負債¥400,000 = 資本¥600,000

計算の結果、「さかっち商店」の資本が一番小さいことがわかります。理由は、3つの商店とも資産の金額が同じ¥1,000,000 で、「さかっち商店」の資本が一番小さく計算されています。ということは、あまり多くないほうがよいイメージの負債が多いということになります。

なお、この演習で使う計算式「資産－負債＝資本」を資本等式といいます。

Key Word：資本等式、資産－負債＝資本